

2021年度の聖句

「見よ、兄弟が共に座っている。なんとという恵み、なんと  
いう喜び。」詩編133編

聖霊降臨節第二十四主日礼拝

宗教改革記念日 10月31日

10時30分

礼拝

司式 杉野博子長老

奏楽 佐藤舞

前奏 O.アーベル「神はわが岩」

招詞

讃詠 III22「わたしたちは神の民」(1節)

祈祷

主の祈り 564(週報裏面掲載)

讃美歌 I-267(1節のみ歌います)

聖書 エフェソの信徒への手紙 2章 1-10節

宣教 『救いは与えられるもの』 池谷明高牧師

祈祷

讃美歌 I-267(3、4節のみ歌います)

信仰告白 使徒信条(週報裏面掲載)

献金

報告

頌栄 I-539

祝福

後奏

※毎週の礼拝をインターネットで配信しております。

説教題字 和田幸恵さん 講壇お花 和田幸恵さん

礼拝当番 糸井慈長老

《今日の集会》

・教会学校 休校

《今週の予定と集会》

・祈祷会、その他の諸集会はお休みです。  
(祈祷会は、十一月第二週からの再開を検討いたします。)

《来週の礼拝》

聖霊降臨節第二十五主日礼拝 11月6日(日) 10時30分

宣教『自分のためではなく、他者のため』池谷明高牧師

聖書 マタイによる福音書 6章 19-21節

I-391(1) I-391(4) I-540

司式 相馬美知恵 奏楽 パーディック美緒

《お知らせ》

○コロナ感染対策の為、今日の讃美歌は、説教前は1節のみ  
説教後は3節、4節を歌います。

《選ぶのではなく、選ばれている》

教会、礼拝に行く(与る)か行かないか、長老などの奉仕をやるかやらないかを決めるのも、私達ではなく神様です。思い違いをして自分が決めるものと思ったら、神様から離れてしまいます。自分が神様になっているからです。すべて神様の招き、神様の選びです。神様が主であり、中心です。もし委ねられないと思うなら、全能の神を信じていないからです。私達にはできなくても、神様にできないことはなく、その力に与るのです。神にすべて委ねて自分を捨て、わがままな思い、傲慢さを捨ててこそ、アーメンと言って飲み込めます。奉仕や務め、教会、救いから離れません。主イエスと共に死に、主イエスと共に起こされ、神に従う者になるのです。

《罪、自分中心から自由にされる》

キリスト者はすべてを神様に委ねます。だから不平、不満はありません。すべてが恵みだからです。それによって自分自身が変わられ、救われ、キリスト者に育てられるからです。わがままな思い、自分中心の考え方を捨てなければ、神様にも、教会、牧師、長老にも委ねられません。口から批判や不平が出ます。恵みも救いも受け取らないのですから、天の国に入ることは、らくだが針の穴を通るより難しいでしょう。アーメンと言って、どんなものもの感謝していただく人は、一人で頂いているのではなく、主イエスと共に、兄弟姉妹と共に頂いています。そこがまさに天の国なのです。救いはすでに与えられています。そして揺るぎない心の平安があるのです。

《今週の御言葉》

「あなたがたは恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。」エフェソ2:5

《御奉仕に感謝》

○先週日曜日礼拝後に加藤長老、市川義弘さんがお庭の手入れをしてくださいました。  
○先週月曜日に、三三四設計事務所の方から、会堂のコンクリート劣化の検査報告がありました。会堂の建て直しに向けての作業を始めるのが賢明と判断されるような結果でした。近藤長老も出席していただきました。

